

2020.1 Vol. 81

おうしゅう

# 福祉だより

OSHU FUKUSHI DAYORI



米里保育所の子どもたちとフレアイガー

- P2 奥州市歳末たすけあい運動報告
- P4 「安心」への一歩、相談から
- P5 教育支援資金
- P6 権利擁護あんしんセンターの紹介
- P7 インフォメーション
- P8 学校じまん



この広報紙は市民の皆さまから寄せられた赤い羽根共同募金の  
配分金により発行しています





生母2区「スポーツを楽しむ会」（前沢）



奥州市歳末たすけあい運動報告

# わたしたちの思いやりが 奥州の人と人をつなげます

誰もがふれあいと希望に満ちた新年を迎えるため、市民の皆さまよりお寄せいただいた募金の総額は、13,770,471円となりました。募金は、市社協、市共同募金委員会、市民生児童委員連合協議会の主唱団体を通じて、「生活困難世帯への激励金」「地域づくり活動助成」として配分しました。募金いただきました皆さまと、地域づくり活動にご協力いただきました関係の皆さまに厚く御礼を申し上げます。



十文字地域セーフティネット会議「クリスマス会」（水沢）



えびす会 クリスマス会と餅ふるまい（胆沢）

## 激励金

基準に該当する

- ・ひとり暮らし高齢者世帯
- ・母子・父子世帯
- ・災害被災世帯
- ・要介護者等がいる世帯
- ・その他の要援護世帯

927世帯へ「激励金」をお届けしました。

※詳細は右表のとおりです。

## 地域づくり活動助成

孤立と生活困難を防ぐための地域の助け合いを目指していますが、その土壌づくりには、地域や近隣者の信頼関係や結びつきが重要となります。

### 主な活動

- ・地域伝承や地域特性を活かした行事
- ・地域やボランティアとの交流
- ・地域のスノーバスターズ・除雪支援 等

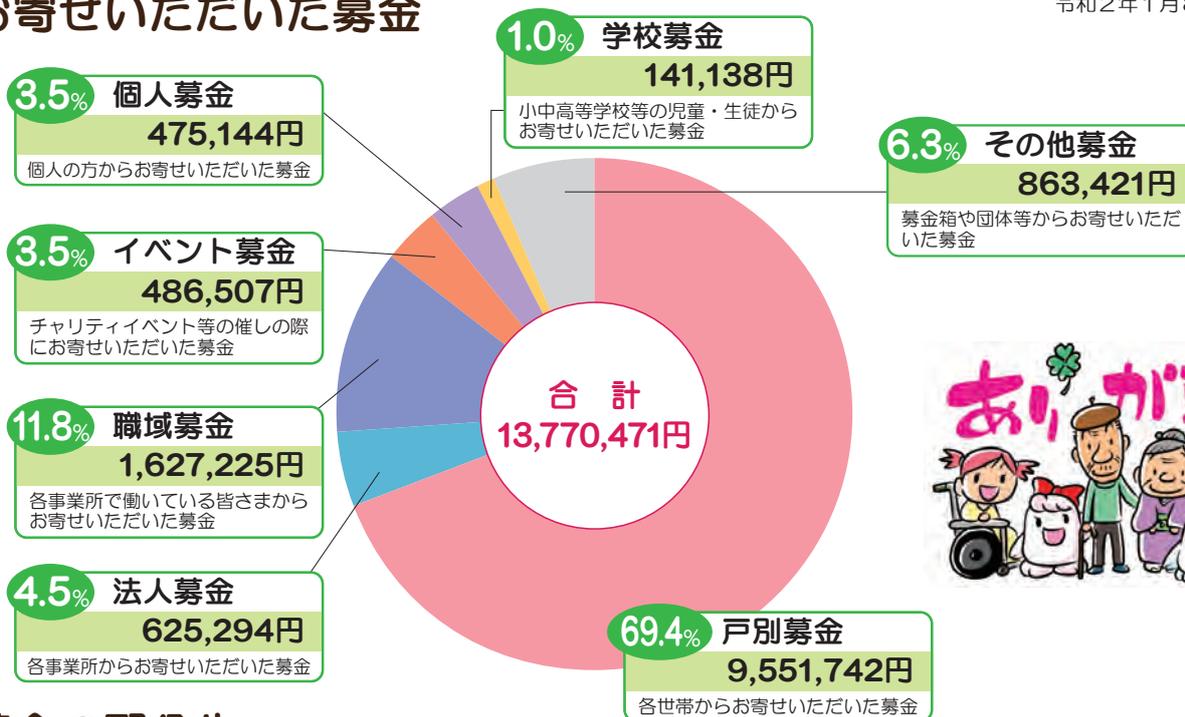


衣川民生児童委員協議会主催「クリスマス交流会」

# 市内927世帯に激励金をお届けしました！ 地域づくりのために182団体へ助成

## ◎お寄せいただいた募金

令和2年1月8日現在



## ◎募金の配分先

### \*激励金の給付状況

対象	1件あたりの金額(円)	件数	金額(円)	基準	
ひとり暮らし高齢者世帯	世帯給付 8,000	325 世帯	2,600,000	65歳以上の方のみで在宅で暮らす生活困難な世帯	
高齢者世帯	世帯給付 8,000 人員加算 1,000	59 世帯 62 人	534,000		
要介護者等がいる世帯	寝たきり・認知症高齢者	世帯給付 8,000 人員加算 1,000	55 世帯 110 人	550,000	65歳以上で常時介護の必要な寝たきり高齢者や認知症高齢者のいる生活困難な世帯
	重度心身障がい児・者	世帯給付 8,000 人員加算 1,000	119 世帯 236 人	1,188,000	
	難病疾患	世帯給付 8,000	8 世帯	74,000	厚生労働省の指定する難病のため常時介護を要する生活困難な世帯
		人員加算 1,000	10 人		
母子・父子世帯	世帯給付 8,000 人員加算 1,000	228 世帯 402 人	2,226,000	中学校までの子どもを、ひとりの親で養育している生活困難な世帯	
その他の要援護世帯	世帯給付 8,000 人員加算 1,000	125 世帯 201 人	1,201,000	病気や怪我、家族の介護、離職や就職難により生活困難となっている世帯	
災害被災世帯	世帯給付 10,000	8 世帯	80,000	火災、震災、風水害で被災した世帯（平成30年12月～令和元年11月）	
合計	-	927 世帯 1,021 人	8,453,000		

### \*地域づくり活動助成の配分状況

項目	件数	金額(円)	助成団体
1 地域交流	142	1,743,764	町内会・自治会・地区振興会（地域セーフティネット会議、ふれあい・いきいきサロン）、地域福祉推進協議会、地域団体、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体、福祉団体
2 生活困難者（世帯）支援	22	330,000	
3 その他	18	385,000	
合計	182	2,458,764	

### \*その他支出

項目	金額(円)	内容
運動推進費	630,000	広報費等の事務経費
岩手県共同募金会送金	2,228,707	岩手県共同募金会へ送金（令和2年度の奥州市の地域福祉事業に還元されます）
合計	2,858,707	

# 「安心」への一歩、相談から



～一人で悩まず、ご相談ください～



色々な悩みに寄り添います

借金の返済で  
生活が大変。  
債務を整理したい。

暮らし・  
健康のこと

介護・子育てが  
とても大変だ。

仕事のこと

こころのこと

預貯金の管理が  
出来なくなり、  
今後の生活が不安だ。

登記・財産・  
相続のこと

困っているけど  
どこに相談したら  
いいの？

## ワンストップ相談型 くらしとこころの総合相談会

総合相談会は、高齢者介護・子育て・生活困窮・雇用等様々な分野の専門家が直接相談をお受けし、生活の自立支援と生活課題の問題解決のお手伝いをします。

令和2年 **3月5日** (木) 午前10時～正午 / 午後1時～3時30分

- ▶ 会場：奥州市文化会館・中ホール ▶ 対象：市内在住の方
- ▶ 相談料：無料
- ▶ 相談員：弁護士、司法書士、公共職業安定所、保健センター、地域包括支援センター  
子育て支援センター、市社協くらし・安心応援室、同権利擁護あんしんセンター
- ▶ 相談受付・対応

2月28日(金)までに、電話またはFAXで下記申込先へお申し込みください。事前予約なく来訪された場合は、お待ちいただくことがあります。相談時間はおおむね30分までとします。

- ▶ 申込先：市社協権利擁護あんしんセンター ☎ 25-7171 FAX 25-6712

この制度を知っていますか？

# 『教育支援資金』



## 教育支援資金とは？

教育支援資金は、学費の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、高等学校や大学等にかかる必要な費用の貸し付けを行い、就学や将来の就労を支援する制度です。

### 利用できる世帯

- 生活保護世帯
- 低所得世帯

※低所得世帯とは、世帯の収入が市民税非課税程度又は生活保護算定基準額の1.7倍程度以下の世帯となります。

### 借入ケース

- ① 高等学校や大学等へ進学したい。
- ② 授業料、通学定期代が足りない。
- ③ 入学金、制服等の購入費が足りない。
- ④ 授業料の未納で進級または卒業ができない。

※世帯の状況に応じて、自立相談支援機関等の支援を利用いただくことがあります。

### 当制度の利用について

#### ● 連帯借受人が必要

就学者が借受人となり、世帯の生計中心者又は就学者の親権者が連帯借受人として加わらなければなりません。連帯借受人がいない場合等は、連帯保証人が必要となります。

#### ● 相談窓口

詳細は、下記最寄りの支所又は地域の民生委員にご相談ください。

### 教育支援資金の種類と貸付額

資金種類	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利率	
教育支援資金	教育支援費	高校 月35,000円以内 高専 月60,000円以内 短大 月60,000円以内 大学 月65,000円以内	卒業後 6か月 以内	20年 以内	無利子
	就学支度費	500,000円以内			

- 教育支援費 就学するのに必要な経費
- 就学支度費 入学に際し必要な経費（入学時に限る）

### 必要な書類

- ・ 本籍地が記載された住民票（世帯全員分）
  - ・ 世帯の所得が分かる書類（源泉徴収票等）
  - ・ 住民税課税証明書（連帯保証人）
  - ・ 合格通知書または在学証明書の写し
  - ・ 経費の内訳が分かる書類
- ※上記以外にも、必要に応じて書類を求める場合があります。

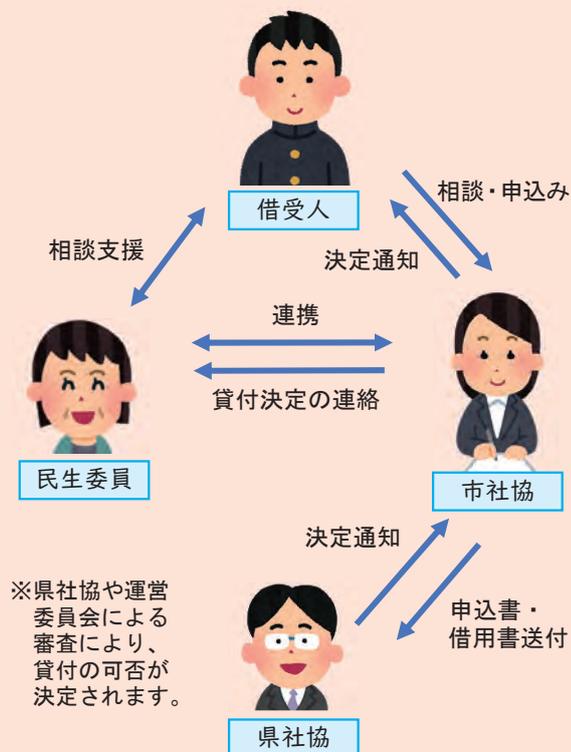
### 貸付金の返済例・返済方法

例1 元金 1,260,000円（高校3年間）10年（120回払い）の場合

➡ 月額 10,500円 × 120回

例2 元金 3,120,000円（大学4年間）20年（240回払い）の場合

➡ 月額 13,000円 × 240回



### 申込み・問合せ先（市社協）

水沢支所 ☎ 25-6025 江刺支所 ☎ 35-8081  
前沢支所 ☎ 56-2148 胆沢支所 ☎ 46-3111  
衣川支所 ☎ 52-3144

# あなたや家族の

# 困りごと、心配ごとはありませんか？

## ～権利擁護あんしんセンターの紹介～

権利擁護あんしんセンターでは、成年後見制度の申立て手続きや住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、下記のような支援を行っています。

### 1 成年後見制度

法定後見制度

認知症や知的障がいなどで判断能力が不十分なため、財産管理や様々な契約などが1人では出来ない状態になっている。



任意後見制度

将来、自分の判断能力が不十分になった時に備え、自分で後見になってくれる人を選び、公証証書で任意後見人となる人と契約を結びます。



市社協権利擁護あんしんセンターへ相談

①説明



②申立書類の準備



③家庭裁判所にて申立て



④成年後見人等の決定



### 2 日常生活自立支援事業

こんな悩み、抱えていませんか

福祉サービスを利用したいけど、どこに相談すればいいのかわからない

近くにどんな施設があるのかな？

書類の手続きに困っている

介護保険関係の書類が届くけど、手続き方法がわからない。

お金の使い方に不安がある

家賃や電気代を払ったか忘れてしまう。

預金通帳をどこにしまったか不安になる

通帳や印鑑を無くしてしまうことが増えてきたわね。

住み慣れた地域や自宅で安心して自立した生活が送れるよう、利用者の契約に基づいて、福祉サービスの利用手続の援助や代行、それに伴う日常的金銭管理をお手伝いします。

### サービスの内容

#### ■福祉サービスの利用援助

福祉サービスを安心して利用できるように、お手伝いします。



#### ■日常的金銭管理サービス

公共料金や福祉サービス利用料などのお金の出し入れをお手伝いします。



#### ■書類等預かりサービス

大切な印鑑や証書などを安全な場所でお預かりします。



### 3 障がいがある人への不利益な取り扱いに対する相談窓口

障がいがあることを理由に不当な差別や権利の制限、合理的な配慮がなされないなど不利益な取り扱いを受けた場合の相談窓口を設置しています。

相談内容について県に連絡しその後、県から当事者へ確認・調整・アドバイスをします。

お問合せ先  
市社協権利擁護  
あんしんセンター  
☎ 25-7171



# Information

## -インフォメーション-

奥州市社会福祉協議会 連絡先電話番号			
総務企画課	25-6158	水沢支所	25-6025
地域福祉課	25-7171	江刺支所	35-8081
くらし・安心応援室	47-4546	前沢支所	56-2148
		胆沢支所	46-3111
在宅福祉課	51-1181	衣川支所	52-3144

### 地域で暮らし続けるための「おかげさま」を学ぶ講座

《第11回》**2月14日(金)** 午後1時30分から午後4時 会場：奥州市文化会館中ホール  
 テーマ：「地域で暮らし続けるためのおかげさまを学ぶ」  
 内容：地域事例の発表等を予定しています。  
 ※ご近所福祉スタッフ養成公開講座として開催します。

《第12回》**3月18日(水)** 午後1時30分から午後3時30分 会場：奥州市総合福祉センター  
 テーマ：「高齢者に対する支援と介護保険制度について」  
 講師：岩手県社会福祉士会胆江ブロック会代表 伊藤 裕二氏  
 ▼申込み 開催日10日前までに最寄りの市社協各支所

### 家族介護教室（奥州市委託事業）

介護をしていくうえで役に立つ知識の取得、情報や交流の場を提供することで、介護者が心身ともにリフレッシュして、自信を持って介護を続けていくことを目的として開催します。

- ① **1月29日(水)** 午前10時から正午 会場：奥州市総合福祉センター  
 内容：「福祉用具の専門員から学ぶ介護技術エトセトラ」  
 講師：ダスキンヘルスレント奥州ステーション 福祉用具支援専門員 吉田 信幸氏
- ② **2月18日(火)** 午前10時から正午 会場：奥州市総合福祉センター  
 内容：「笑いヨガでリフレッシュ！！」  
 講師：Laughter Yoga International University 認定ヨガリーダー 及川 陽子氏  
 ▼対象者 市内で家族の介護に携わっている方、介護に興味がある方 ▼参加費 無料  
 ▼申込み 開催の2日前までに市社協在宅介護支援センター（水沢支所）へお申込みください。 ☎25-6025

皆さまから心温まる『まごころ』の寄附金をお寄せいただきました。  
 ありがとうございました。（敬称略）〔令和元年8月1日から11月30日受付分〕

市社協へ **708,152 円**

- 《水沢》 後藤文字 高橋睦夫 吉田貞子 奥州市水沢パークゴルフ協会 カルチャーパークあてるいの会 会長 佐藤博之  
 (旬ヶー・マート 西崎菊の会 市総合福祉センター募金箱
- 《江刺》 安部長悦 及川吉雄 奥州市ゲートボール協会江刺支部 奥州市ゲートボール協会江刺支部愛宕分会 匿名1名
- 《前沢》 佐々木政志 原田利雄 前沢民生児童委員協議会 匿名1名
- 《胆沢》 阿部雅守 石川彼出子 石川正人 小野寺栄 佐藤一好 胆沢ゴルフ協会
- 《衣川》 高橋努 若槻憲悦

お預かりした義援金は岩手県及び中央共同募金会を通じて、被災地に配分されます。

皆さまの温かいご支援ありがとうございました。（敬称略）〔令和元年11月1日から12月31日受付分〕

◎令和元年台風19号災害義援金（岩手県共同募金会取扱） **467,566円**

- 《水沢》 岩手県立胆沢病院ボランティアの会 常盤地区民生児童委員協議会 水沢高等学校 水沢中学校 水沢南中学校  
 水沢保育園父母の会 羽田地区振興会 羽田中学校第九回卒業有志会 匿名4名
- 《江刺》 阿部勤 石川董 江刺総合コミュニティセンター募金箱
- 《前沢》 前沢小学校 前沢中学校 市社協前沢支所募金箱
- 《衣川》 高橋初郎 衣川中学校 市社協衣川支所募金箱

◎令和元年台風19号災害義援金（中央共同募金会取扱） **24,000円**

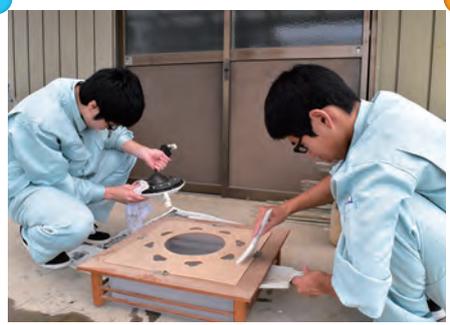
- 《水沢》 常盤地区民生児童委員協議会

# 学校じまん

37

岩手県立水沢工業高等学校

市内の児童・生徒の皆さんが、  
自分たちの取り組んでいる  
福祉活動を紹介する  
「学校じまん」をお届けします。



テクノボランティア



いわて車いすフレンズ活動



《記者》

機械科3年

千葉 ちば

亮さん りょう

機械科では、課題研究の一環として、車いす修理に携わっています。実習で身に付けた知識と技術で広く社会に貢献したいと考え、古くなり使えなくなった車いすの整備（パンクの修理やノーパンクタイヤへの交換、ベアリングの清掃、ブレーキの調整、錆取りなど）を行い、再び快適に使えるよう再生し、海外に送っています（「いわて車いすフレンズ」の活動）。随時、市内福祉施設等からの車いすの修理依頼にも応じており、平均すると毎年十〜二十台の車いすを再生し、社会に送り出しています。また、今年は日程が合わず参加できませんでしたが、毎年秋に奥州市総合福祉センターで行われている「水沢ボランティアフェアフェスティバル」にも参加し、車いす修理をその場でったり、車いすダンスの実演に協力させていただいたりするなど、地元に根付いた活動を心掛けています。



《記者》

電気科3年

菅原 すがわら  
唯斗さん ゆいと

十四年度から高齢者宅を訪問し、照明などの電気製品の掃除や簡単な修理の他、換気扇の掃除やコンセント周りの配線の確認など様々なことを実施しています。三年生の生徒六名と電気科職員二名の計八名で六月から十二月までの毎週月曜日の午前中に活動しています。訪問する家室によって作業内容や作業環境が大きく異なるため様々な状況に対して臨機応変に対処出来るように心がけて活動しました。初めは、実際に作業することに慣れておらず一つの作業に時間をかけてしまったり、先生からの指示を待っていたりしましたが、活動の回数を重ねていくにつれ自分達だけで作業をできるようになっていました。学校の授業で学んだことを知識としてだけでなく技術としても身に付けることができる活動となっております。

